



じっと耐え忍び、蕾があちこちに芽吹き、一輪が際立ってさやかに咲き誇る姿。ここかしこに花が咲いているのを見ると晴れやかになるが、寒風吹きすさぶ中、一輪だけが咲いている光景は、まさに「凜としている」といえる。



芭蕉の弟子は、「梅一輪 一輪ほどの温かさ」と詠った。

解釈は諸説あるようですが、寒さの中ほのかな温かさがじんわりと身体にしみ、心がふわりとなる様子が見えてくる、そんな感じになるのは、春の訪れがそこまでやってきている証ではないでしょうか。

今年度もあとひと月となりました。子どもたちの活動の様子をお知らせします。

2月4日 5歳児の体験入学！

丹後小へいつてきたよ～。えんぴつでかいたよ～。



「小学校へ着いたときは、ちょっと不安だったけど・・・帰るときは、楽しい気持ちでいっぱいになりました。」
そんな表情を見せる **<アーチをつくり見送る1年>**
入学前の5歳児の子どもたちでした。



2月4日 午後から宇川小・丹後小の6年生が、中学校の授業を体験しました。2学期は、「理科」、そして3学期は、「体育実技」。体験授業のあとは、入学説明会でした。中学校の生活について保護者とともに説明を受けました。

《体育の授業体験》

寒さもなんのその！

先生からの指示を



集中して聞く小学生。ペアを組み、体ほぐし、メニューを懸命に取り組んでいました。この日は、「学園運営協議会」、「民生児童委員協議会」の皆様にも子どもたちの様子を参観していただきました。



《入学説明会》

中学校の先生から学習や部活動の他、学校生活には、いろいろな費用もかかることを聴きました。

2月5日 「ようこそ 宇川小学校へ」

今か今かと待ち受ける児童

“母校へ中学一年生が招待され、後輩に話したことは何？”

この一年間に中学校で体験したことを先輩として、「中学校ってこんなところだよ」と小学校高学年の児童へ、わかりやすく表現を工夫し思いのほどを熱く語りました。部活動の厳しさから得たもの、仲間と楽しい時間をともにすることの他に、**学習は、やられるものではなく、自分で考えてやっていかなければならない！**

これから目指すであろう**自分の道(目標)を究めるには、基礎基本が大事である。小学校で学んだことが、今後活かされるのだ。**

また、小学校でさほど復習していなくても高得点が取れていても**中学校では予習、復習が足りないと点は取れない。テスト勉強も早めに計画を立て、自分で勉強のやり方を身につけること等、心得るべきことについて4人の先輩からアドバイスがありました。**

小学生から寄せられた質問に、堂々と先輩が応えていました。事前に話す内容をまとめた中学生、話を聴いてよい刺激を受けた小学生、**互いに貴重な時間**となりました。



2月14日 宇川小学校 4年生 10歳の祝いの会

※丹後小は、3月4日に開催



10年間の成長を祝い証書の授与がありました。



高速で跳ぶ二重とびやしっとり奏でるピアノ等、習得した技をそれぞれが披露しました。リコーダーで息の合った合奏もあり、会場が穏やかになりました。育てていただいた感謝と今後の生き方にもかかわる決意を発表しました。最後は、親から子どもへ、子どもから親へ心温まるメッセージが贈られました。感極まる場面が見られました。

2月18日 丹後学園全体研修会

令和7年度の保幼小中一貫教育について各会議、部会の活動を振り返り、成果・課題を教職員で共有し、次年度の計画を確認しました。

***学園評価アンケート結果(学校関係者)から**

・4つの項目すべて肯定的な回答(84%以上)であった、挨拶運動学校公開の機会に子どもの実態を見て感じることから回答をいただいている。地域と学校のつながりを意識できる取組を求められている様子が伺える。今後も保幼小中一貫教育のねらいや

目指す姿を啓発し、定期的に取り組を発信し保護者・地域の方々に理解していただくことが大切である。

